

令和7年度 技術移転に係わる目利き人材育成プログラム 「バリュープロデュースコース」 タイムテーブル

(注) 講師およびカリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合があります。

バリュープロデュースコース

研修会場： 科学技術振興機構 東京本部別館 2F会議室A (東京都千代田区五番町7 K's五番町) HP: <https://www.jstgo.jp/koutsu.html>

定員： 30名

開催期間： 令和7年7月16日(水)・17日(木)

(講師名：敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:40	10:00	11:30	11:40	12:40	13:40	15:10	15:20	17:00								
第1回 研究成果の選別・評価と事業化へのロードマッピング																				
【開講挨拶】 小長谷 幸 科学技術振興機構 人財部 科学技術イノベーション人材育成室 室長																				
【講師】 尾谷 敬造 神奈川大学 研究推進部 産学官連携課 産学官連携コーディネーター 木下 裕介 東京大学 大学院工学系研究科 准教授																				
※グループ討議担当講師 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアURA 亀上 知世子 リバシティ 代表 電気通信大学 情報理工学研究科 産学官連携研究員 新東亜交易株式会社健康産業部 技術顧問 伊永 俊雄 岡山大学 研究推進機構 産学官連携コーディネーター 鈴木 正人 株式会社はままつ共創リエソノ奏 取締役 プロデュース部門長 高草木 吉雄 量子科学技術研究開発機構 イノベーション戦略部 産学連携戦略課 主幹	7/16 (水)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受 付	主 催 者 趣 旨 説 明 ・ 注 意 事 項 開 講 挨 拶	研究成果の選別・評価 神奈川大学 尾谷 敬造	休 憩	【講義②】 研究者ヒアリング 研修で取り扱う 技術シーズ提供者	昼 食 休 憩	【講義③】 事業プランニングのための ロードマッピング 東京大学 木下 裕介	休 憩	【グループ討議】 事業化へのロードマッピング (出田・亀上・伊永・鈴木・高草木)	振 り 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散								
					研究成果から事業化展開を進めるためには、研究成果の技術面や研究者の人物面を把握し、事業化へ向かうための研究成果の選別・評価を行うことが重要である。研究成果の選別・評価の実践的手法のひとつである「トリアージ法」を用いて、抜け漏れなく同一視点で研究成果を横並びに評価し、選別する工程や検討のポイントを具体的に学ぶ。		本コースで具体的に検討を進める技術シーズをご提供いただいた研究者へのヒアリングを行う。ヒアリング内容をグループ討議に活かし、社会実装へのシナリオ構築へと進める。		将来ビジョンと現在を繋ぐための道筋を設計するロードマッピングを学ぶ。戦略やシナリオを検討する際のロードマッピングの有効性や戦略立案のためのポイントを押さえ、午前中のグループ討議で実践したロードマッピングの疑問点を解消する。		事前課題で検討した結果や講義を踏まえ、具体的な技術シーズでロードマッピングを実践し、社会実装までのプロセスや課題点などを抽出する。また、事業化に向けて、今後どのように研究成果を進展させるべきか活動方針を決める。									

課程・講師名	日程	会場	9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00	
			9:15	9:30					12:00	13:00	14:00	14:10	15:20	15:30			16:30			
第2回 産学官連携・技術移転活動の全体俯瞰	7/17 (木)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受 付	昼 食 休 憩	[グループ討議] 研究成果の選別・評価と 事業化へのロードマッピング (出田・亀上・伊永・鈴木・高草木)				昼 食 休 憩	[講義] 産学官連携活動の 全体俯瞰 開志専門職大学 各務 茂夫		休 憩	[グループ討議・発表] 研究成果の選別・評価と 事業化へのロードマッピング (出田・亀上・伊永・鈴木・高草木)				振 り 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散			
【講師】 各務 茂夫 開志専門職大学 学長 東京大学 特命教授 ※グループ討議担当講師 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアURA 亀上 知世子 リバシティ 代表 電気通信大学 情報理工学研究科 産学官連携研究員 新東亜交易株式会社健康産業部 技術顧問 伊永 俊雄 岡山大学 研究推進機構 産学官連携コーディネーター 鈴木 正人 株式会社はままつ共創リエソノ奏 取締役 プロデュース部門長 高草木 吉雄 量子科学技術研究開発機構 イノベーション戦略部 産学連携戦略課 主幹					グループ討議 第1回に引き続き、ロードマッピングを実践し、社会実装までのプロセスや課題点などを抽出する。また、研究者ヒアリングで得た研究者や技術シーズの背景についてもグループ内で意見交換し、技術シーズの事業化の可能性について評価・検討を行う。					産学官連携の実務者が学ぶべき視点を把握する。 また、グローバル化が進む中で、世界を取り巻く情勢を踏まえ、それぞれの地域でイノベーション創出に向けた活動展開が期待される目利き人材の要件について学び、産学官連携を全体俯瞰する。			グループ討議 引き続き、ロードマッピングや研究成果の評価について修正と検討を行い、事業化への糸口を探る。本日の講義内容を受けて、今後の活動内容や自身のスキルとして必要な要素を俯瞰的に把握する。		休 憩	グループ発表 グループ討議で取りまとめた結果をグループごとに発表する。各グループが行ったトリアージとロードマッピングの結果を見ながら、各グループの幅広いアイデアを共有する。				

バリュープロデュースコース

(講師名：敬称略)

日程	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第3回 研究成果の付加価値の創出	10/15 (水)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	9:15	9:45	10:00	11:30	12:00	13:00	16:00	17:00
【講師】 鈴木 剛一郎 イノベーションマネジメントコンサルティング 代表・経営コンサルタント ※グループ討議担当講師 出田 光太郎 佐賀大学 リージョナル・イノベーションセンター シニアUR 亀上 知世子 リハスティ代表 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 新東亜交易株式会社健康産業部 技術顧問 伊永 俊雄 岡山大学 研究推進機構 産学官連携コーディネーター 鈴木 正人 株式会社はままつ共創りエソノ奥 取締役 プロデュース部門長 高野木 香織 量子科学技術研究開発機構 イノベーション戦略部 産学連携戦略課 主幹	趣旨説明・注意事項	受付	【講義】 実践的技術マーケティング手法 S-N変換法の活用 イノベーション マネジメントコンサルティング 鈴木 剛一郎	【グループ討議】 S-N変換法を用いた 評価と研究成果の 価値創出 鈴木 剛一郎 (出田・亀上・ 伊永・鈴木(正) ・高草木)	昼食休憩	【グループ討議・発表】 S-N変換法を用いた 評価と研究成果の価値創出 鈴木 剛一郎 (出田・亀上・伊永・鈴木(正)・高草木)				振り返りシート記入・解散
			技術マーケティングの実践的手法である「S-N変換法」を学ぶ。従来になかった価値(機能・効能・効果)と未来の顧客を特定していくアプローチ手法を理解し、第三者が興味を引くような技術紹介のヒントを掴む。	グループ討議 第1回で研究者ヒアリングをした技術シーズについて、S-N変換法を用いて、要素技術、機能・効能(できること)・用途・市場ニーズなどの関係について整理する。	グループ討議 午前までに続き、S-N変換法を用いて研究成果の価値創出について議論を深める。さらに、新たな価値の創出に向けた方向性について検討を行い、その結果を技術紹介シートにとりまとめる。	グループ発表 グループ討議でS-N変換法を用いて実践し、とりまとめた結果をグループごとに発表し、とりまとめた結果を共有する。				

[illegible]

バリュープロデュースコース

(講師名：敬称略)

課程・講師名	日程	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第5回 事業化シナリオの策定①			9:15	9:45	10:00	11:00	11:10	12:40	13:40		17:00
【講師】 稲熊 律夫 RE-DesignLab 代表 慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート 特任教授 山本 卓司 株式会社マトリクソーム 代表取締役社長	12/10 (水)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受 付	趣 旨 説 明 ・ 注 意 事 項	【講義①】 事業化シナリオの 策定 RE-DesignLab 稲熊 律夫	休 憩	【講義②】 事業化シナリオの実践事例① 株式会社 マトリクソーム 山本 卓司	昼食休憩	【グループ討議・発表】 事業化シナリオの策定 実践① 稲熊 律夫 (出田・亀上・伊永・鈴木・高草木)		振 返 り シ ー ト 記 入 ・ 解 散
※グループ討議担当講師 出田 光太郎 在賢大学 リーショナル・イノベーションセンター シニアURA 亀上 知世子 リバスティ 代表 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 新東亜貿易株式会社健康産業部 技術顧問 伊永 俊雄 岡山大学 研究推進機構 産学官連携コーディネーター 鈴木 正人 株式会社はままつ共創リエゾン奏 取締役 プロデュース部門長 高草木 香織 量子科学技術研究開発機構 イノベーション戦略部 産学連携戦略課 主幹					研究成果を活用・応用した 製品・サービスへの事業化 シナリオに必要な項目（解 決を図りたいペイン・課題 や想定する顧客等）のボイ ントについて学ぶ。		大阪大学発ベンチャーの株式会社マトリ クソーム。細胞の性質や挙動を決定する といわれるマトリクソーム（細胞外マト リックスを構成するタンパク質の総体） の研究を応用し、再生医療に用いられる 細胞培養基質製品の製造・販売を行って いる。株式会社マトリクソームの事業計 画やビジネスモデルから、シナリオ作成 や大学発ベンチャー創出のポイントを学 ぶ。		グループ討議 第1回グループ討議から検討を進めてきた技術シーズを用いて 事業化へのシナリオを検討する。本技術を活用・応用した製 品・サービスが提供する価値、想定する顧客とその数、競合す る製品・サービス、ビジネススキームなどを整理する。	グループ発表 グループ討議でまとめた事 業化シナリオについて、結 果をグループごとに発表す る。シナリオを作成する検 討の過程を共有し、事業化 へ向かうためのポイントを 整理する。	

日程	会 場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第6回 事業化シナリオの策定② 【講師】 三宅 徹 株式会社未来機械 代表取締役社長 ※グループ討議総括 稲熊 律夫 RE-DesignLab 代表 慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート 特任教授 ※グループ討議担当講師 出田 光太郎 佐賀大学 リーショナル・イノベーションセンター シニアVRA 亀上 知世子 リバスティ 代表 電気通信大学 情報理工学研究所 産学官連携研究員 新東亜貿易株式会社健康産業部 技術顧問 伊永 俊雄 岡山大学 研究推進機構 産学官連携コーディネーター 鈴木 正人 株式会社はままつ共創リエゾン奏 取締役 プロデュース部門長 高草木 香織 量子科学技術研究開発機構 イノベーション戦略部 産学連携戦略課 主幹	12/11 (木)	JST 東京本部 別館2F 会議室A	受 付	【講義】 事業化シナリオの実践事例② ～事業戦略と海外進出のポイント～ 株式会社未来機械 三宅 徹	休 憩	【グループ討議】 事業化シナリオの策定 実践② (出田・亀上・伊永・ 鈴木・高草木) グループ討議 第5回の検討を踏まえ、事業化に向けての課題やリスク等の整理と、今後取り組むべき技術開発や知財戦略等を考える。	屋 食 休 憩	【グループ討議・発表】 事業化シナリオの策定 実践② 稲熊 律夫 (出田・亀上・伊永・鈴木・高草木) グループ討議 午前持续到、事業化シナリオ策定に向けて議論を深める。第1回から様々な分析ツールを用いて検討してきた技術シーズについて、研究者や関係者に提案する形の事業化シナリオとして取りまとめる。	グループ発表 完成したシナリオについて、技術シーズの提供者である研究者にプレゼンする形でグループごとに発表する。	振 り 返 り シ 証 ！ 授 と 記 式 入 ・ 解 散